

運動会も無事に終わり、ぞうぐみさんの子ども達は、心身ともに充実した毎日を送っています。

今月のお稽古は、3ヶ月振り・・・その上新しい先生に指導してもらい緊張感いっぱいの様子でした。子ども達にとっても“お茶のおけいこ”の時間は特別で、いつも賑やかな子ども達ですが、真剣に耳を傾け、静かな雰囲気の中でも、お茶道具など知っている事は、積極的に答えようとする姿が見られましたよ!!今回は、今までのおけいこの復習をしてもらったので、次回は“お運び”の練習をしておうと思います。

## \*お茶の先生\*

よろしく  
お願いします。



## \*10月のお花\*



\*すすき

ほととぎす  
\*不如帰

\*コスモス

※ 今月は、今までの復習をしました。

おかし  
どうぞ。



おかし・・・  
おいしい。



お茶どうぞ・・・。



「お先に・・・」  
「どうぞ・・・。」

残さず  
飲めたよ!



## \*豆知識 — お茶の歴史(1)「お茶のものは中国」

お茶を飲む風習がはじめて伝えられたのは、奈良時代といわれています。そのころは団茶というお茶の葉をつき固めた“だんご”のようなものでした。

平安時代の終わりごろ中国の宋に渡った栄西という僧侶がお茶の実を持ち帰り、日本に広まっていったそうです。

栄西はお茶は飲んで楽しむだけでなく、病気に効く薬だと時の将軍源実朝に献上し、武家の間には広まり始めました。又、商人の間にも広まっていったようですが、当時ではぜいたくな遊びと考えられ、お茶の産地や茶名を当てたりして楽しまれていたようです。来月は茶道の始まりへと続きます。